

第22回 国際連帯活動 (ベトナム社会主義共和国)

国際交流 in ベトナム ①

**日本との違い、
ベトナムの良さ**

JR西労組 中央本部(京都地本) 東 賢市

今回のベトナム国際交流ですが、私自身「初海外」ということもあり、出発前に何を準備していいのかわからず、食べ物の面に関しても、一抹の不安(パク

チーなどの香草類が苦手)を抱きながらの旅立ちでした。

事前資料に目を通しますと、現在のベトナムは大変な発展をしており、GDP

も毎年のプラス成長(しかも5%以上)をし、その中でも日本企業の進出が目覚ましいとのこと。

また、鉄道においては、今後、高速鉄道化する計画がありながら頓挫していることや、都市部での交通インフラ問題などを学びました。

そうした中でベトナムの第一印象は、空港の綺麗さもあり「日本とあまり変わらないかな」というものでした。「海外で飛行機を降りたらその国においが

する」という様なことは、よく耳にしていたのですが、特段匂いが気になることもなく、空港にしても大変整備されている印象を持ちました。

その後、バスに乗り、ハノイ市街地へ向かいました。その道中にはコンビニが全く無く、この辺りから違いを感じるようになりました。

市街地へ入ると、なんとバイクが多いこと！この光景は現地ならではのものだと思えます。多分、日本

意見が多くあげられ、ハード・ソフト両面で課題・悩みを共有！

第1部では、健康増進センターから佐々木講師をお招きし、「これからの健康(良い睡眠から生活習慣病を防ぐ)」と題し、不規則な生活環境である医療系統の組合員へ、効果的な昼寝の取り方や、睡眠の質を改善する方法などについて、講義を受けた。

第2部では、「残業時間を減らしイキイキと働こう」というテーマで、意見交換を行った。現在の取り組みの多くが、実効性のあるものになっていない、などの

シヨンの改善で解決できるものもあり、参加した組合員は、大きな手ごたえを感じた一日であった。

あるのだと思いました。また、バスも走ってはいないので、乗客が少ない印象を持ちました。車は、非常に多くの国の車が走っており、日本ではあまり見ることのない韓国製の車(移動中のバスも韓国ヒュンダイ社製)も数多く走っていました。

空港にあった大型ビジョンもサムソン社製であり、韓国経済の脅威を感じずにはいられません。日本車も多く走っており、特にホンダ車が多いように感じました。やはり、バイクのイメージがそのまま車にも波及したのでしょうか。その次はトヨタ。その次に

マツダがよく走っていたように思いました。また、高級車というイメージのドイツ車もよく走っていました。一台だけですが、まさかのフェラーリも見ることがありました。

日本ではある程度年季の入った車(10年や20年前の車も平然と走っています)を見るのがありますが、ベトナムではほとんどが、ここ10年以内で購入したであろう車ばかりで、この辺りにも、急速に広がる自家用車ブームを感じました。

その様な中、道路や信号などの交通インフラが追いついていないように思いました。大渋滞には至っていませんでしたが、街中バイクと車が入り乱れており、常日頃が大混乱という印象をもちました。

歩行者の横断においては、あえて走らず、普通に歩いていると、バイクの方がよけてくれるという暗黙のルールで横断しました。これも慣れるまで非常に怖かったですし、つい、駆け足になってしまいました。(つづく)

「夏のボーナスで何か買ったかい?」

「それが家内と、もめてまして、買いませんでした」

「ねえボーナスで洗濯乾燥機を買ったかい?」

「いや、洗濯機は買ったけど、乾燥機は天日干しが一番!」

「ちがうだろ、今年の豪雨のようにようやくに雨が降り続いたら、洗濯物が干すのにならぬ」

「その後、私、家庭内で孤立して、お母さん、お父さん、おまっす」

第19回 医療系統ユースフォーラム開催

大阪鉄道病院・JR広島病院・名古屋セントラル病院

中央本部青年女性委員会は7月1日(土)、新大阪ビル会議室に於いて「第19回医療系統ユースフォーラム」を開催した。

大阪鉄道病院とJR広島病院で働く青年女性組合員に加え、JR連合の仲間である名古屋セントラル病院からのJR東海ユニオン組合員3名を含め、総勢39名での開催となった。

冒頭、新倉青年女性委員長は、「医療系統は、他系統と比べ、年休取得が低く、サービス残業の多いことが

また、来賓として参加した本社総支部の蒲書記長は、「働き方改革とは、残業を減らすことが目的ではなく、自らの趣味などに費やす時間を創り出し、ゆとり、豊かさのある人生を送ることが、目的である」という認識を持ってほしい」と課題を提起した。

また、来賓として参加した本社総支部の蒲書記長は、「働き方改革とは、残業を減らすことが目的ではなく、自らの趣味などに費やす時間を創り出し、ゆとり、豊かさのある人生を送ることが、目的である」という認識を持ってほしい」と課題を提起した。



大きな手ごたえを感じた参加者

意見が多くあげられ、ハード・ソフト両面で課題・悩みを共有！

第1部では、健康増進センターから佐々木講師をお招きし、「これからの健康(良い睡眠から生活習慣病を防ぐ)」と題し、不規則な生活環境である医療系統の組合員へ、効果的な昼寝の取り方や、睡眠の質を改善する方法などについて、講義を受けた。

第2部では、「残業時間を減らしイキイキと働こう」というテーマで、意見交換を行った。現在の取り組みの多くが、実効性のあるものになっていない、などの

シヨンの改善で解決できるものもあり、参加した組合員は、大きな手ごたえを感じた一日であった。

あるのだと思いました。また、バスも走ってはいないので、乗客が少ない印象を持ちました。車は、非常に多くの国の車が走っており、日本ではあまり見ることのない韓国製の車(移動中のバスも韓国ヒュンダイ社製)も数多く走っていました。

空港にあった大型ビジョンもサムソン社製であり、韓国経済の脅威を感じずにはいられません。日本車も多く走っており、特にホンダ車が多いように感じました。やはり、バイクのイメージがそのまま車にも波及したのでしょうか。その次はトヨタ。その次に

大切な家が災害にあったら

火災共済/地震風水害共済

みんなでお守りしたカード

交運共済

全国労働組合連合会連帯共済会